

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急・重点的強化策

令和3年6月29日
東京都危機管理対策会議

目次

緊急・重点的強化策の概要	・ ・ ・ P 1
1. 若者、中高年層にフォーカスした対策の強化	・ ・ ・ P 2
2. 飲食店への感染防止対策の強化	・ ・ ・ P 3
3. 職場での取組の強化	・ ・ ・ P 5
4. スムーズビズ(TDM等)による人流抑制策の推進	・ ・ ・ P 6
5. ワクチン接種の促進	・ ・ ・ P 10

緊急・重点的強化策の概要

1. 若者、中高年層にフォーカスした対策の強化

- ・体制強化の上、声かけや見回りを強化
- ・路上飲み対策の見回りを毎晩実施

2. 飲食店への感染防止対策の強化

- ・店舗への働きかけの強化
- ・点検済店舗のコロナ対策リーダーを対象にワクチン接種を実施

3. 職場での取組の強化

- ・テレワークをはじめとする人流抑制策等

4. スムーズビズ(TDM等)による人流抑制策の推進

5. ワクチン接種の促進

繁華街・路上飲み対策

- ✓ 都職員を**延べ150人体制に増強**した上で、警察、消防、地元自治体と連携し、声かけや見回りを強化
- ✓ 主要繁華街、ビジネス街、学生街で**集中的に実施**
- ✓ 「路上飲み」は、**毎晩見回りを実施**
- ✓ 公園、鉄道などでポスター掲示、コンビニでも店内放送等を実施
- ✓ SNS等も活用し、**積極的に発信**



店舗への働きかけの強化

- ✓ 「点検・認証促進のための取組」と、
「時短要請への遵守徹底に向けた取組」を連携
- ✓ 人員を約 100 人増員（現在約 500 人）
 - ・ 都職員が直接現地確認を実施
- ✓ 都民や区市町村等からの情報も活用
- ✓ 時短等の要請に応じない店舗に対しては、
特措法上の個別要請、命令を厳正に実施

点検済店舗に対するワクチン接種の促進

「徹底点検 TOKYOサポート」プロジェクト

都の要請にご協力いただいた「点検済店舗」を対象に

✓ ワクチン接種

- ・ 「点検済店舗」のコロナ対策リーダーを対象に順次実施
- ・ 申込件数 : 約 4, 5 0 0 件
接種人数 : 約 1, 5 0 0 名
(6月28日時点)
- ・ 今後、より多くのコロナ対策リーダーに接種を受けて頂けるよう、取組を推進



職場での取組の強化

- ✓ **テレワーク**の一層の推進
- ✓ 業種別ガイドラインに沿った、**基本的感染防止対策の徹底**
- ✓ 各企業における取組の促進を**経済団体に要請**



大会に向けたTDM等の推進

大会時の
交通の見通し

大会時の
交通対策

見込まれる
効果(目標)

道路交通



首都高を走る車が約**1割増加**等
(118万台→130万台)

公共交通



鉄道利用者が約**1割増加**等

TDM(交通需要マネジメント)

・道路や公共交通利用者への交通需要低減の働きかけ



TSM(交通システムマネジメント)

・一般道のレーン規制、高速道路の車線規制等

首都高の料金施策
(ロードプライシング)等



公共交通輸送マネジメント

・運行管理、輸送力増強
・テレワーク/時差出勤等

□ 都心部(重点取組地区)

:大会前交通量の**30%減**を実現

□ 東京圏の広域(圏央道の内側)

:大会前交通量の**10%減**を実現

□ 首都高速道路:交通量を最大**30%減**

□ 局所的な混雑への対応等

により、現状と同程度の
安全で円滑な運行を実現

安全・安心な東京2020大会の開催に向けて、人流を抑えるための取組を徹底

スムーズBiz（TDM等）による総合的な人流抑制策の推進

「2020TDM推進プロジェクト」

都市活動や経済活動の安定との両立を図ることを目的に、東京都、内閣官房、東京2020組織委員会が事務局となり、大会時の交通混雑緩和を目指す（約5万社・910団体で構成）



これまでの活動

◆企業向け（中小企業・商店街向け含む） 人の流れ、物の流れについて混雑回避の取組を呼び掛け

- 1) テレワーク、時差出勤などの働きかけ
- 2) 効率的な物流計画の推進/
東京港ゲートオープン時間拡大
- 3) 工事調整による混雑緩和(対象工事：約2400件)

企業の取組状況（例）

- ・テレワーク導入企業
2020年3月 24.0% ⇒ 2021年5月 64.8%
- ・サマーセール期間変更 例年7月 ⇒ 6月に前倒し
- ・集約/共同配送、「大会中の配送遅れ」を顧客に案内

◆個人向け

テレワークの実践、計画的な夏季休暇取得、自家用車利用の際の時間・ルート変更、宅配を一回で受取ること等と呼び掛け

（2019年秋～延期前）

ポスター 約16万枚、チラシ 約26万枚を配布

（延期後）

コロナ禍を経た意識変化（アンケート R2.11月）
→ テレワーク継続意向は高い
交通規制チラシ 約48万部配布

今後

◆大会期間中の人流抑制について

国・経済団体等と協力した取組

- ・スムーズBiz、テレワークデイズの設定(7/19～9/5)
- ・経済界へ人流抑制に向けた働きかけ
- ・夏季休暇の分散取得
- ・首都高の料金施策(7/19～8/9, 8/24～9/5)
- ・ゲートオープン時間拡大
(7/14から9/8(お盆・土日祝除く) 7:30～翌4:00等)

大会時に関わる人流抑制の取組

- ・観客向けガイドライン（直行直帰の推進）
- ・大会関係者向けプレイブックによる人流の削減
- ・TSM（交通システムマネジメント）

夏の集中広報

- ・テレワークの実践、学生等の休暇中の移動自粛等と呼びかけ
- ・CM、Web・新聞広告、メルマガ（5万社、910団体）
- ・ポスター・チラシ36万枚

デジタル技術等を活用した情報発信

- ・リアルタイム混雑状況の発信
- ・予測システムを活用した混雑予報
- ・CM、ラジオ、Webによる道路交通情報

スムーズビズ（TDM等）による総合的な人流抑制策の推進

➤ 7/19～8/9及び8/24～9/5の期間において実施

TSM(交通システムマネジメント)

＜圏央道内側で実施:首都高4号新宿線・5号池袋線、
外環(埼玉)等＞

・オリンピックルートネットワークにおいて所定の交通量を超えた際に、周辺の入口の閉鎖やJCT部での方向別規制を実施

入口閉鎖



本線料金所の
通行制限



JCT部での
方向別規制



料金施策

＜首都高の都内区間:首都高湾岸線空港中央・浦安、
5号池袋線戸田より都内側など＞

・夜間への分散利用を促進する「夜間割引」及び混雑時間帯の交通量を抑制する「日中の料金上乘せ」を実施

＜料金パターン＞

夜間利用の促進



日中交通量の抑制
(自家用乗用車)



＜料金上乘せの対象外となる車種＞

中型車・大型車・特大車



事業用車両

普通車 軽自動車 二輪



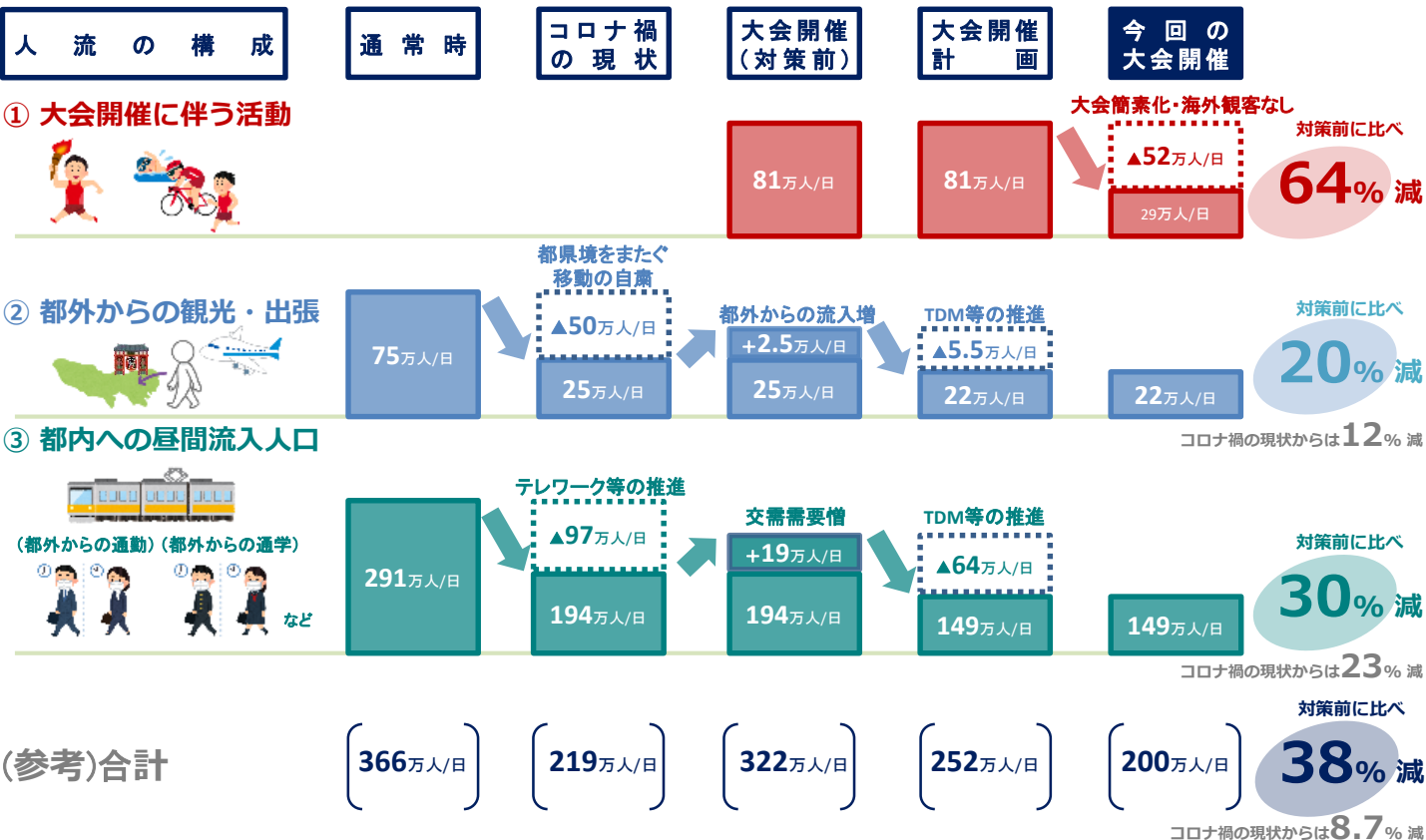
自家用車(貨物等)

普通車 軽自動車



※障害者手帳の交付を受けている方が運転または同乗する車両も
事前申請することで上乗せの対象外

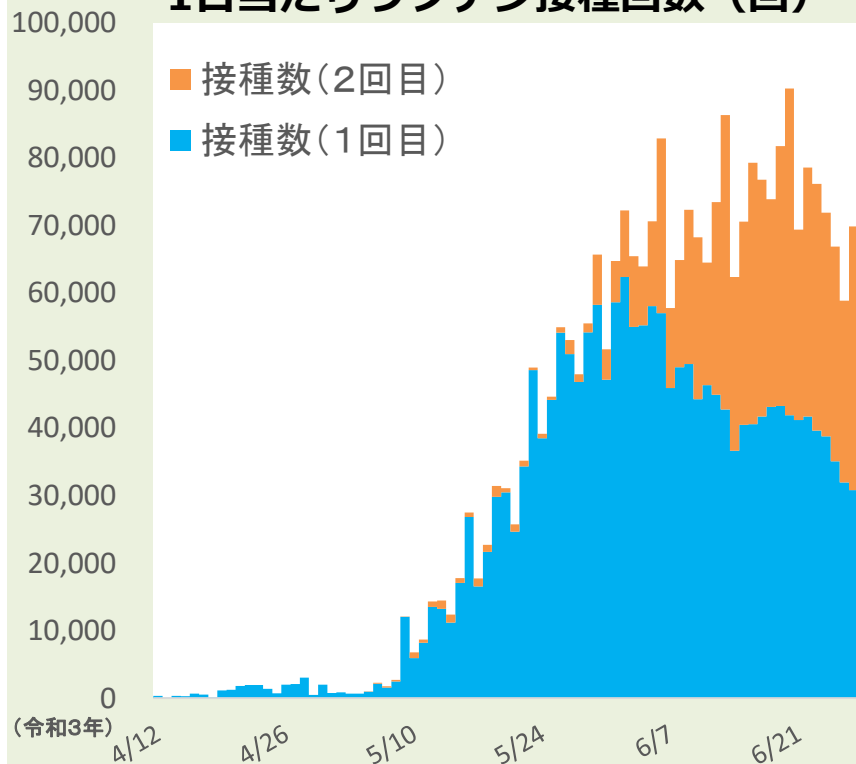
東京2020大会期間中における人流の増減



**TDMや大会の簡素化等の対策により、来訪者数は対策前に比べ大幅減
(コロナ禍の現状と比較しても減)**

ワクチン接種の状況

1日当たりワクチン接種回数（回）



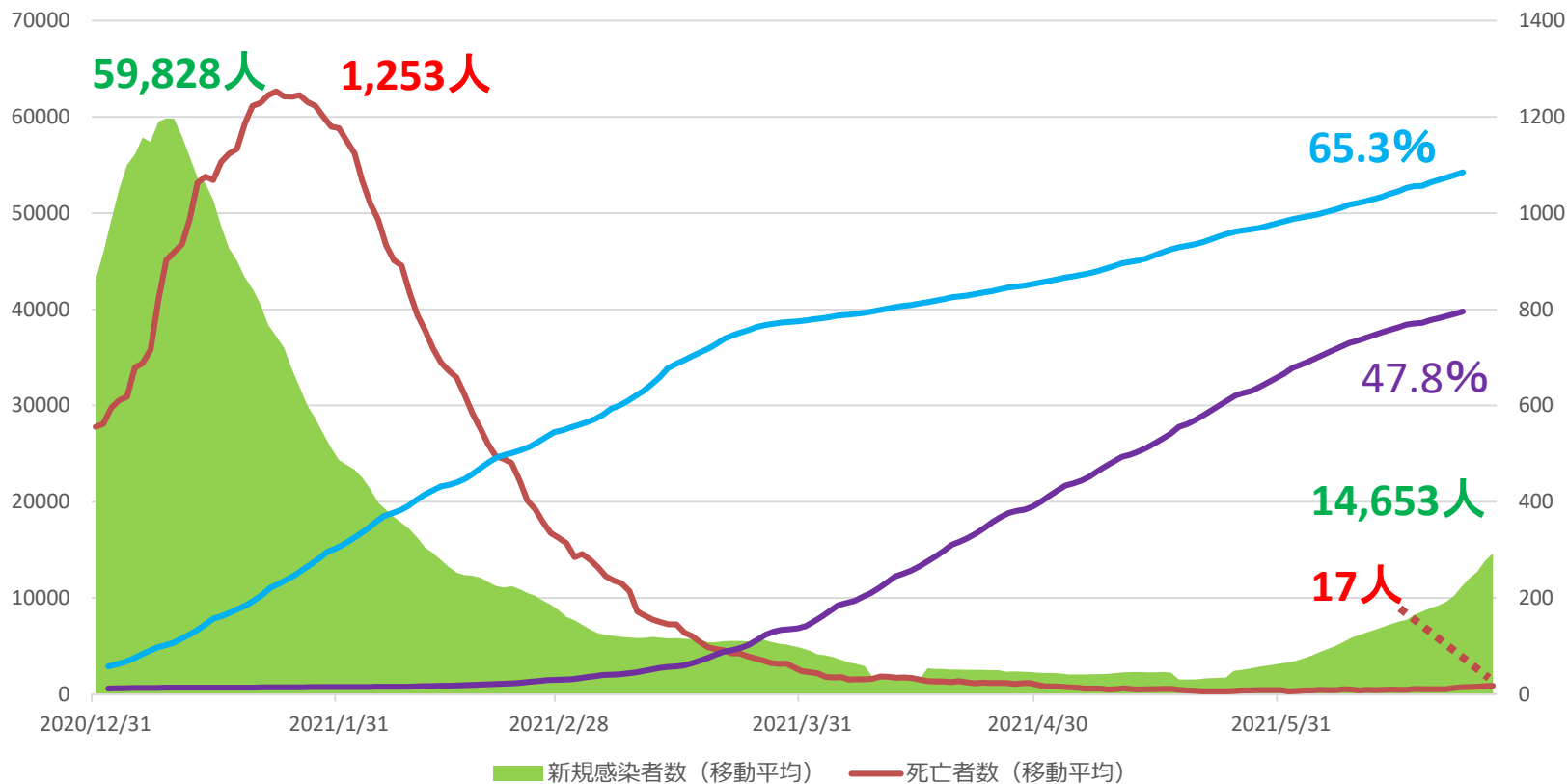
○ 医療従事者(対象者数：約50万人)

日付	接種回数	うち1回目	うち2回目
6月25日まで	917,397	494,036	423,361
6月26～28日	12,703	5,741	6,962
合計	930,100	499,777	430,323
対象者に占める割合		99.96%	86.06%

○ 住民(高齢者)(対象者数：約311万人)

日付	接種回数	うち1回目	うち2回目
6月24日まで	2,265,889	1,660,474	605,415
6月25～27日	221,594	98,025	123,569
合計	2,487,483	1,758,499	728,984
対象者に占める割合		56.54%	23.44%

イギリスにおけるワクチン接種状況等



イスラエルにおけるワクチン接種状況等

